

令和5年度長崎市地域包括支援センター活動報告

長崎市の
統計

	令和6年3月末	(R5年3月末)
65歳人口	135,450人	(135,156人)
高齢化率	34.5%	(34.0%)
要支援認定者	6,748人	(6,972人)
認定者数計	28,295人	(27,964人)
認定率	20.9%	(20.7%)
事業対象者	2,587人	(2,490人)
総合相談延件数	67,714人	(67,995人)



地域包括支援センターがこの1年特に力を入れた活動一覧

各地域包括支援センター活動報告の紙面左スペースでは最も力をいれた取り組みを掲載しています。内容の詳細は、各包括の活動報告をご覧ください。

長崎市包括的支援事業実施方針の重点項目

- 1 介護予防の推進
- 2 認知症に関する取り組みの充実
- 3 地域ケア会議を活かした活動の展開
- 4 権利擁護事業の推進

実施方針の項目	包括名	令和5年度活動紹介「力を入れた活動」のテーマ
介護予防の推進	日見・橘	高齢者ふれあいサロンのない地域で介護予防教室を開催し、集いの場の立ち上げに向けた取り組みを行いました。
	江平・山里	健康寿命延伸のための基盤づくり
	西浦上・三川	介護予防・フレイル予防・自立支援の充実と強化
	緑が丘	健康づくり推進員の活躍と協働
	淵	地域で取り組む健康づくり活動に向けた取り組み
	岩屋	地域活動の担い手・参加者を発掘！！
	滑石・横尾	男性の通いの場づくりに向けた取り組み～男性料理教室を開催して～
	三重・外海	外海神浦地区の高齢者実態調査～神浦地区の高齢者はどのような状況なのだろう？～
	琴海	オーラルフレイル予防啓発 口腔ケアの夜明け
	戸町・小ヶ倉	介護予防に関する地域課題の共有・体力測定会の開催！
認知症に関する取り組みの充実	南部	野母崎いきいき体操教室を開催
	東長崎	認知症当事者とともに活動しています
	桜馬場	新たな認知症カフェ「幸の風カフェ」の立ち上げについて
	片淵・長崎	地域での見守り体制構築の取り組み
	小江原・式見	共生社会に向けて 多世代交流を通じた認知症の理解促進・見守り体制づくり
	西部	認知症があっても安心して住み続けられる町づくり
地域ケア会議を活かした活動の展開	小島・茂木	認知症家族を支える会を立ち上げました！
	大浦	多職種協働による地域の資源を活かした仕組みや通いの場づくり
	深堀・香焼	高島地区のネットワーク構築を目指して！
	土井首	地域を知り、知ってもらうために

R5年度の新たな取り組み(一部を紹介)

【オーラルフレイル予防の取り組み】

・オーラルフレイル予防は、全身の健康維持に関連することの啓発を目的に、市民向けセミナーの開催や、介護支援専門員向けに、ケアマネジメントの質の向上を目的とした研修会を開催しました。

・毎年1回開催している健康づくり推進員交流会の介護予防講座で、口腔体操とブラッシング指導を実施しました。今後も住民、専門職と一体になり介護予防に取り組む予定です。

・地域ケア推進会議で、口腔に関する現状と課題を検討し、オーラルフレイル予防の取組として関係機関向けの研修会を開催し、健康まつりにおいて、地域住民を対象とした歯科医師の講話を行うなど、高齢者の口腔ケアの意識向上に向けて取り組みました。今後も継続した展開を行う予定です。

【男性対象の介護予防・自主活動に向けた取組み】

・「男性の地域デビュー」「男性中心の活動グループの創設」を目標に料理と運動を学ぶ介護予防教室を開催しました。参加者が、スマートフォン活用について関心が高いことを把握し、生活支援コーディネーター等の多職種と連携してスマホ教室を開催しました。今後も男性の受講ニーズを捉えた企画を実施することで、継続的に地域活動に参加するきっかけを提供し自主化への取組みを継続する予定です。

・地域から「男性料理教室」の再開を求める声にこたえて、法人の栄養士の協力を得て3回シリーズの教室を開催しました。教室での他地区教室の事例紹介や教室修了者の同窓会で運営協力者を募るなど、自主化への働きかけを継続し、年度末には参加者協力による教室を開催しました。今後は自主化に向けた運営の支援を行う予定です。

通所型サービス

	R3	R4	R5
短期集中型通所サービス決定者(年間)	287	232	252
通所相当(3月利用者)	2,631	2,669	2,737
ミニデイサービス(3月利用者)	374	376	399

訪問型サービス

	R3	R4	R5
短期集中型訪問サービス決定者(リハ)	14	14	25
”(栄養)	5	15	13
”(口腔)	3	2	8
”(合計)	22	31	46

住民主体の通いの場づくり・支援

	R3	R4	R5
高齢者ふれあいサロンサポーター養成者数	20	73	60
延べ養成者数	1,425	1,498	1,558
活動者数	600	559	577

通いの場の開設状況(令和5年度末現在)

(箇所)		
市サロン	社協サロン	自主G
61	104	104

・在宅支援リハビリセンター等と協働で地域の通いの場づくりの支援を行い、令和5年度中に2ヶ所の市サロン、4か所の社協サロン、10か所の自主グループが活動を開始しました。

介護予防の推進

認知症カフェ

(カ所)

R3	R4	R5
25	26	27

・新たに1カ所が新規開設しました。

・認知症カフェをきっかけに、家族等の不安や悩み等を共有できる定期的な集いの場の開設が進み今年度は3地域になりました。

認知症サポーターリーダー養成講座

・認知症カフェや家族会の支援や、認知症サポーター養成講座など、認知症地域支援の担い手として地域で活動されています。

	R3	R4	R5
養成者数	6	8	9
実活動者数	120	132	119

認知症スクリーニング検査

・801件のうち、集団けん診会場で285件の検査を実施しました。通いの場では少なかった前期高齢者や男性に検査の機会を提供できました。

・出来るだけ早期に適切な治療や

サービスにつなぐ等の

支援を実施しました。 物忘れの傾向あり

	R3	R4	R5
受診者数	419	397	801
支援を実施しました。	125	120	215

認知症初期集中支援チーム

・包括に寄せられる相談をきっかけに専門チームが介入し、必要な医療や介護サービスにつながりました。

認知症対策の充実

	R3	R4	R5
訪問実人数	74	61	71
チーム員会議	36	36	37

地域ケア会議

地域ケア会議(地域包括ケアシステム)

	R3	R4	R5
地域ケア推進会議	36回	58回	50回
自立支援型地域ケア個別会議	121回 190件	115回 180件	87回 124件
(参考)個別事例ケア会議	71件	74件	93件

<地域ケア推進会議での地域課題と取組内容(一部)>

●生活支援コーディネーター等との連携した取り組み

・買い物支援活動として、関係団体との調整を行い、お買い物バスの運行を開始したことにより、スーパー閉店後も住み慣れた地域で必需品を購入するしきみを整えることができました。

・住民主体の通いの場開設に向けて、導入として健康教室を開催したり、年間計画の立て方や申請書作成等の支援を行い、市サロン、社協サロン等の立ち上げにつなげました。

●認知症の見守り体制づくりに向けた多世代交流の取組み

・小学校においてデイサービス利用者等と児童との交流機会や、地域住民との徘徊模擬訓練を実施し、児童からは高齢者を招いての演奏会や交流会を開催するなど、交流を通して認知症の理解促進に取組みました。

・校区まつりで子供向けの徘徊模擬訓練を実施しました。

・地域の寺との協働により、多世代交流を目的とした「みんな食堂」を開催しました。

権利擁護の推進

虐待防止

	R3	R4	R5(暫定)
延相談件数	1,364	1,750	1,648
被虐待者数	116	126	137
分離(別居)した事例	31	47	47

・相談・通報時には、R5年2月改訂された長崎市高齢者虐待相談・支援マニュアルに沿って、行政と連携し役割分担しながら、迅速な支援方針の決定や対応に努めました。

・地域や関係機関に対し高齢者虐待防止に関する講話や研修を行い、高齢者虐待への意識向上と相談窓口の周知を行いました。

家族介護教室

R3	R4	R5
35	42	38

・介護者同士の交流、介護のリフレッシュ、介護負担の軽減に向けた介護食実習や排泄ケア等、介護技術の習得を行いました。

・家族介護教室以外にも、家族等介護者同士が交流できる集いの場を開催し、家族会立ち上げにもつながった包括がありました。

成年後見制度

	R3	R4	R5
延相談件数	946	732	932
相談実人数	155	196	189
申立支援数	37	34	50

・金銭管理や契約・手続きに関する相談が多く、相談者に寄り添いながら昨年度より多くの申立支援ができました。

・申立支援では、9割のケースで弁護士や司法書士と連携しました。また、高齢者虐待ケースでは、行政と虐待対応を行うとともに、市長申立による成年後見制度の導入を行いました。